

① 笛吹市岡公民館共同太陽光発電所

2008年1月25日、笛吹市岡公民館太陽光発電所の完成式典が開催されました。式典には、荻野笛吹市長をはじめ、NHKやYBS等のマスコミ各社も取材に訪れて盛況に開催されました。PV-Netからは、大友が列席しました。



この太陽光発電所は公民館の屋上に210W太陽電池パネルを42枚設置した最大出力8.82kWのもので、設置費用は約600万円かかりましたが、グリーン電力基金から510万円の助成金が支給されました。残りの90万円は公民館が負担しました。1年間の発電電力量は約11000kWhを見込んでおり、売電収入は約30万円になります。この設備の特徴は、インターネットで太陽光発電の発電状況を見ることが出来ることです。山梨地域交流会のホームページからも見ることが出来ます。<http://yamanashi.greenenergy.jp/>



計量法の電力量計

②今年度の基金への助成金の申請について

2008年度も、グリーン電力基金に太陽光発電設置のための助成金の申請する計画を進めています。設置する施設は北杜市内の公民館です。

高根町蔵原地区の公民館3館から、設置したいと言う要望がありました。現在具体的な計画を説明しているところです。今回の太陽光発電の設置事業では、山梨地域交流会が設置費用を負担する代わりに、設置後5年間の売電収入を会の活動費にする計画です。助成金を差し引いた設置費用は約100万円ですが、5年間の売電収入は180万円が見込まれます。100万円の設置費用を捻出するために、環境省の委託事業に応募しました。

③ソーラーマイレージクラブ事業に応募

この事業は、環境省が実施している委託事業です。家庭部門における太陽光発電設備の導入や種々の省エネルギー対策の普及促進を進めることを地域協議会等に委託して、地域ぐるみで二酸化炭素排出削減の普及啓発を行う活動です。具体的には、太陽光発電の設置相談等を行ったり、太陽光発電によるCO2削減効果のデータ収集を行います。環境省に申請した事業費は240万円です。そのうち必要な経費を差し引いた約100万円が山梨地域交流会の収入になります。その事業収入は上記太陽光発電設備の設置費用にします。また、計量法のメータ設置も行います。

会員の皆様には、太陽光発電によるCO2削減のデータ提出にご協力をお願いします。必要なデータは、毎月の発電量・売電量・買電量・ガス消費量・灯油消費量です。データ提供による参加者60件を目標にしています。よろしく参加をお願いいたします。

④ 小水力発電所を建設します

3年ほど前より、北杜市白州町に小水力発電の建設計画を進めてきましたが、今年度の事業としてNEDOに補助金申請致しました。ただし、山梨地域交流会の会員の皆様に事業計画に対するご承認を頂きたいと考えています。以下の計画をお読みになり、同封のアンケートはがきにて賛否をお知らせください。

農業用水路に、2kWの水力発電設備を設置し、東京電力の系統と連系し余剰電力は売電する計画です。また、発電した電力は水路の水門駆動電力としても利用します。水力発電状況は監視カメラにてインターネットで監視できるようにします。それにより水力発電の

普及啓発を行う予定です。太陽光発電は気象条件に影響を受け、発電量が不安定ですが、水力発電は昼夜とも一定に発電できるという利点があります。一方で水力発電には問題点もいくつかあります。まずメンテナンスに手間がかかることです。機器の点検も定期的に行わなければなりません。また、普及が進まないことにより、建設費用が高額です。



水源地の水門

それら欠点を克服しつつも、PV-Net として利点を生かすために以下のような計画を立てました。まず建設資金を5年以内に回収して、将来のメンテナンス費用に備えます。また、太陽光発電のグリーン電力証書の販売(PV-Green)に小水力発電を活用します。

⑤ 小水力発電の資金計画

建設費用 900 万円 (消費税込) NEDO 補助金 400 万円です。差し引き 500 万円です。

今後5年間の返済計画(金利負担分を含む)

太陽光発電からの売電収入	180 万円
水力発電売電収入	100 万円
地域交流会活動費	50 万円
グリーン電力証書販売収益	125 万円
その他特別寄付金等の募集	95 万円
合計	550 万円

注釈・水力発電の売電収入は必要経費を引いた残りの金額です。グリーン電力証書の販売収益は山梨地域で発電された PV-Green 証書の販売手数料収入です。毎年 10 万 kWh を販売する予定の金額です。上記の特別寄付金に代わるものとして、基金積立金からの拠出を要望する予定です。昨年度末時点で PV-Green 証書の販売収入から基金へ 58 万円が積み立てられていますが、この基金から拠出出来るように総会で提案したいと考えます。今回、東京の総会で、提案することに関する賛否もはがきにてお知らせください。

⑥ グリーン電力証書の販売戦略について

山梨地域交流会では、40 数件 PV-Green 加入発電所があり、年間 10 万 kWh 程度の証書が発行できる体制にありますが、現状ではほとんど売れていません。一方で、京都のビッグカメラでは 10 万 kWh の証書が売れました。このように地域によって格差があるのが現実です。そこで山梨地域では小水力発電による独自の証書を発行して、PV-Green 証書とのセット販売を考えています。10 万 kWh の太陽光発電の証書を購入して頂いた企業様には、1 万 kWh の水力発電グリーン電力証書を無料でつけるというようなサービスを行います。それに加えて小水力発電のホームページに参加企業名も掲載します。証書の発行は計量法により行いますので、グリーン電力認証機構の認証も特に不要だと考えられます。

夜間の電力は、CO2 を最も排出する石炭火力発電所からのものです。したがって価値のある証書がセットで購入できる企業側にとっても、有利と考えられます。

全国的に見ても、NPO 法人が小水力発電を自ら建設所有する事は珍しいので、注目を集めることが期待できます。

⑦ 山梨地域交流会会員名簿作成します

現在、各地域交流会で会員の所在を把握しているのは東京の事務局と一部の世話人に限られています。会員のみなさまは、地域に何人会員がいるのかさえも知らないと思います。そこで今回、山梨地域交流会会員名簿を作成し会員同士のコミュニケーションを図り、個々の情報などを交換する事に役立てて頂きたいと企画しました。ご賛同のほどよろしくお願いいたします。

ご賛同いただけない方は、ニックネームと市町村名のみ掲載となります。

名簿掲載内容は、氏名・住所・電話番号・メールアドレス・発電設置 kW 数を考えています。

返信用のはがきに、名簿掲載の可否に丸をして返信して下さい。また掲載したくない内容が特にありましたら記入してください。

(例・電話番号・メールアドレスなど)

以上、よろしくお願いいたします。

ニュース発行 山梨地域交流会 大友 哲

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545

連絡先 電話・fax 0551-48-3822

e-mail : satoruot@eps4.comlink.ne.jp